

13. 大学として取り組んだ COVID-19 関連事業

令和2年度は巻頭言にあるようにコロナ禍の1年でした。そのような中でも本学の専門性を生かせる思いがけない機会を複数いただきました。

まず一つ目は、石川県からの依頼により、石川県の高齢者・障がい者施設向けの感染予防動画を作成し、石川県ホームページ、本学のホームページで公開しました。またこの動画に関連して本学独自に次のような事業を行いました。

①冊子「高齢者施設・障がい者施設のための 新型コロナウイルス感染対策マニュアル」の発行

編集：石川県立看護大学

制作：林一美、川島和代、飯沼由嗣（金沢医科大学）、岩佐和夫、日向千恵子、池田富三香、嶋田由美子（公立つるぎ病院）、近藤祐子（石川県立中央病院）、中道淳子、渡辺達也、額奈々、桜井志保美、牛村春奈、石垣和子

発行日：令和2年11月

②公開講座「こうすれば安心、コロナ禍の施設ケア」の開催

実施日：令和2年12月6日

講師：飯沼由嗣（金沢医科大学）、山口和也（社会福祉法人 芙蓉会 ことぶき園）、嶋田由美子（公立つるぎ病院）、川島和代

開催方法：石川県立看護大学講堂における対面開催とオンライン視聴

次に、石川県看護協会からの要請を受けて、近隣の二ツ屋病院の看護体制の応援や、急遽発足した軽症者のためのホテル宿泊施設支援を行いました。二ツ屋病院については、石川県からの依頼により、本学の体育館を感染対策用品の物資置き場として開放しました。

3つ目に、例年、石川県公立大学法人より機会をいただいている北國新聞主催の北國健康生きがい支援事業において、一般住民向けに感染予防の公開シンポジウムを行いました。それに関連して本学独自に住民向けの動画作成を行い本学ホームページで公開するとともに、チラシを作成し、保健所や市町村に依頼して住民に配布していただきました。

③北國健康生きがい支援事業「新型コロナウイルスから今、身を守るためには」

実施日：令和2年10月3日

講師：飯沼由嗣（金沢医科大学）、越田理恵（金沢市）、西澤依子（西日本旅客鉄道）、塚田久恵

会場：北國新聞20階ホール

④動画作成「今すぐできる！お家の中の感染予防策」

⑤ちらし作成「続けていますか？お家の中の感染予防対策」

これ以外に個人単位、講座単位、委員会単位で取り組んだ事業もあります。それらはこの年報の各所に掲載されています。